

スキヤンダルナイト



烏賊松

ピンポーン



ピンポーン

ピンポーン

なんだよ
こんな時間
に……

ピンポーン

ああもう
うるせえな！

ピンポーン

ピンポーン



ただいまあああ

ガチャッ



アサミ……



なんだお前……

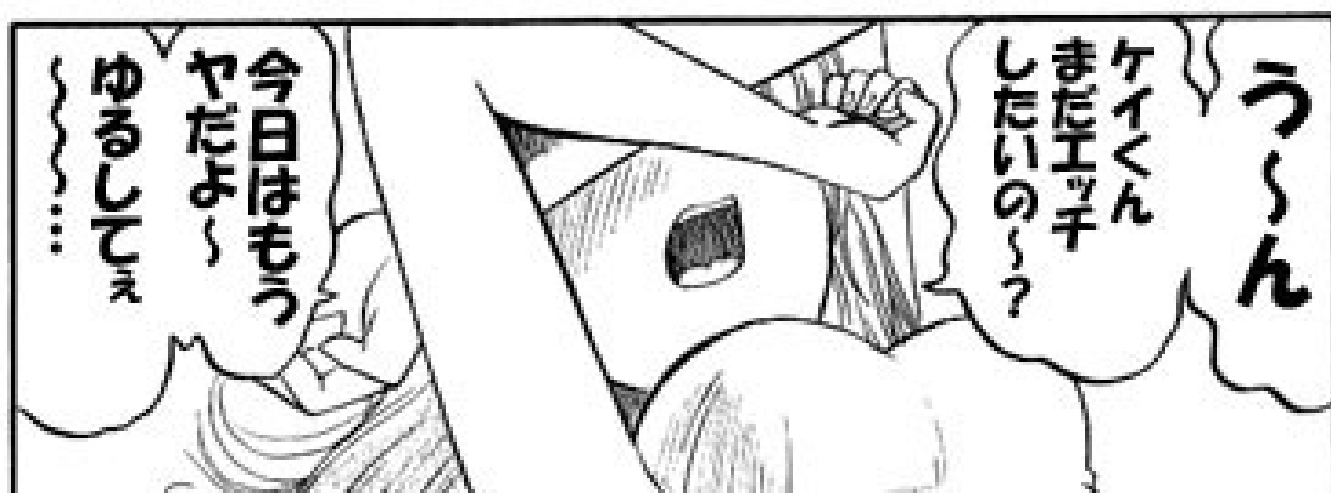
こんな夜中に
帰って来やが
って……



親父たちが
いないからって
遊び回ってんじゃ
ねーよ！！







だ…
誰だよ
ケイくん
って…

カレシか
……？

ふうん

ナマイキに
やるコトは
しつかり
やってんだな

ほら立て
アサミ!!

うん

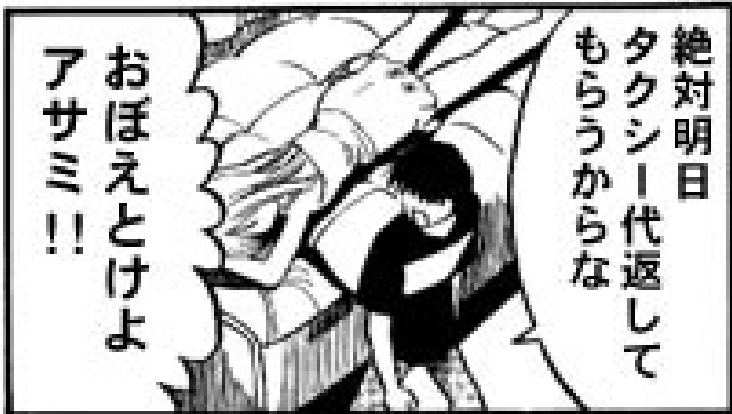
ちゃんと
自分で
歩けよ

重いん
だからよ

なんだ
コイツだ…

モヤモヤ

いつの間
にこんな
デカイ
胸になっ
た？



絶対明日
タクシー代返して
もらうからな

おぼえとけよ
アサミ!!



アハハ
わかってるよ〜
おやすみ
ケイくん ●
起きたら
またエッチ
しようね ●

.....



不思議じゃ
ないけど...



だから
カレシがいて
すでに処女じゃ
ないとしても

別に
全く不思議
じゃない

アサミは
もう20歳だ

まだエッチ
したいの？

今日はもう
やだよ

なんていうか...

ああいう事を
口にするアサミが
妙に生々しくて

アサミが
俺の知っている
妹ではなく
一人のオンスのように
思えてならなかった

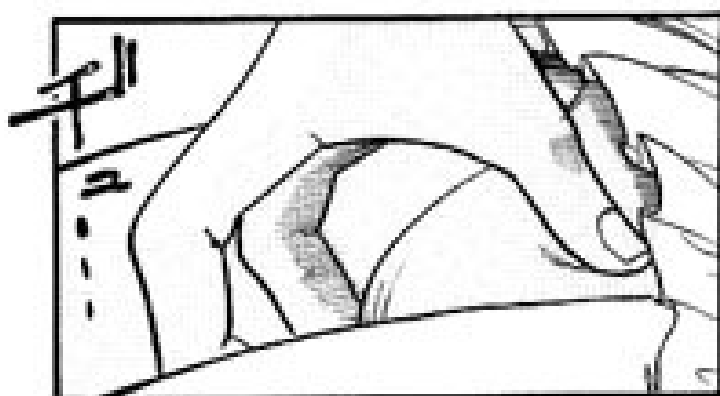
俺は
アサミの部屋に
向かって歩いていて

アサミをベッドに
寝かせてから30分後

普段とは違う
妹を見て
俺の中の悪い虫が
うずきだしたのだ

その日両親が
旅行で家に
いなかった事も
俺の自制心を奪う
一因になっていた







もう
こうなったら
兄妹とか
関係ねえ！

行くところまで
行ってやる！！



